

建材製品中のアスベスト含有率測定方法一

第 3 部：アスベスト含有率の X 線回折定量分析方法

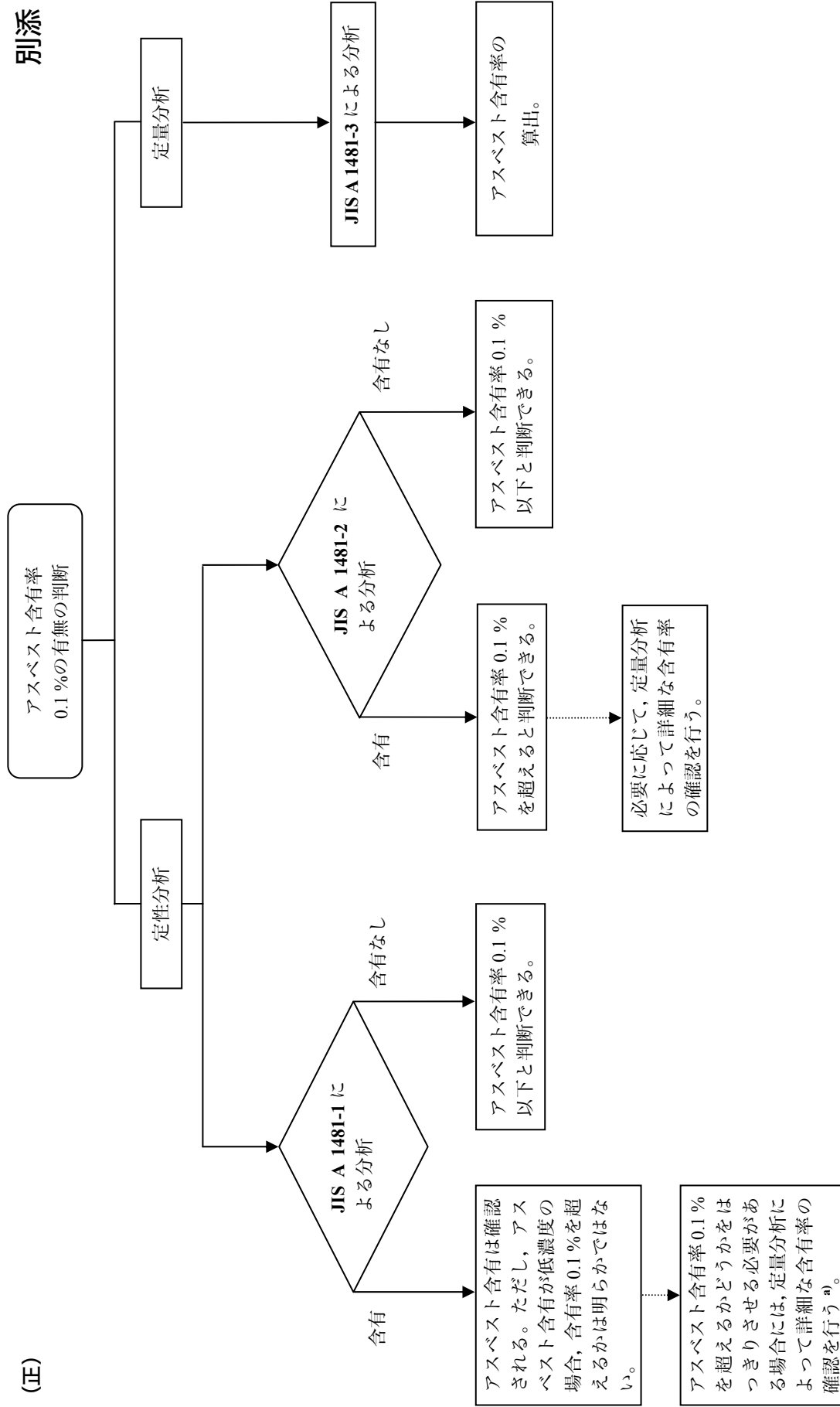
正 誤 票

区分	位置	誤	正
本体	図 1 “JIS A 1481-1 による分析” から “含有” の一つ目の矢印下	アスベスト含有は確認される。ただし、…場合、含有率 0.1 % 以上かは明らかではない。	アスベスト含有は確認される。ただし、…場合、含有率 0.1 % を超えるかは明らかではない。
	“JIS A 1481-1 による分析” から “含有” の二つ目の矢印下	アスベスト含有率 0.1 % 以上かどうかをはっきりさせる必要がある場合には、…行う ⁴⁾ 。	アスベスト含有率 0.1 % を超えるかどうかをはっきりさせる必要がある場合には、…行う ⁴⁾ 。
	“JIS A 1481-1 による分析” から “含有なし” の矢印下	アスベスト含有率 0.1 % 未満と判断できる。	アスベスト含有率 0.1 % 以下と判断できる。
	“JIS A 1481-2 による分析” から “含有” の矢印下	アスベスト含有率 0.1 % 以上と判断できる。	アスベスト含有率 0.1 % を超えると判断できる。
	“JIS A 1481-2 による分析” から “含有なし” の矢印下	アスベスト含有率 0.1 % 未満と判断できる。	アスベスト含有率 0.1 % 以下と判断できる。 (別添参照)

平成 26 年 5 月 1 日作成

(正)

別添



注 a) JIS A 1481-1 は、建材製品中及び天然鉱物中のアスベスト定性分析に適用可能である。一方、JIS A 1481-2 及び JIS A 1481-3 は、建材製品中のアスベスト分析だけを対象としており、アスベストが不純物として含有するおそれのある天然鉱物及びそれを原料としてできた製品の分析は対象としていない。

図1ーアスベスト含有率0.1%の有無の判断のフロー